

大地震に備えて訓練を実施しました。

9月3日（木）に新潟国道事務所で大地震を想定した情報伝達訓練を行いました。

■被災想定

・秋田県沖、山形県沖、新潟県北部沖を震源とする最大震度7の三連動地震が発生し、新潟市内に津波が到達

■訓練内容

・国道7号競馬場IC～国道8号黒埼IC間で緊急車両以外の通行を規制、新潟市内の道路啓開（※）を想定した情報伝達
・災害情報システムの操作
・4元中継によるテレビ会議
（北陸地方整備局、信濃川下流河川事務所、阿賀野川河川事務所、新潟国道事務所）



訓練の様子

訓練における課題、問題点などの改善を行い、万一の災害に備えていきます。

※道路啓開とは、緊急車両等が通行するため、1車線でも通れる様に早急に最低限のがれき処理等を行うことにより、救援ルートを開けることです。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2015/09/150901kikakubu2.pdf>

万代長嶺小学校の生徒が萬代橋の維持管理について学びました。



授業の様子①

9月4日（金）、新潟市立万代長嶺小学校4年生43名に対し萬代橋について新潟国道事務所の職員が講師となり出前授業を行いました。

萬代橋の「用」「強」「美」について説明した後、萬代橋を長く使い続けるために行っている日常管理、定期的な点検や補修の方法を作業状況の写真をまじえながら説明しました。

さらに、萬代橋を使った様々なイベントを紹介して、萬代橋が交流の場にもなっていることも説明しました。

生徒の皆さんは講師の説明を熱心に聞いて、積極的に質問をしていました。



授業の様子②

新潟国道事務所は、これからも国の重要文化財であり、新潟市のシンボルでもある萬代橋を地域と共に大切に守っていきます。

また、当事務所では総合学習や体験学習のお手伝いをしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150902bandainagamine4%20.pdf>

地元の方々が新潟バイパスについて学びました

9月4日（金）、鳥屋野地区公民館で地元の方々約30名に対し、新潟バイパスについて新潟国道事務所の職員が講師となり講義を行いました。

この講義は、鳥屋野地区公民館が企画した「自然と環境講座」の第1回目として行われました。受講者は参加を希望した新潟市内在住の方々です。

新潟バイパスが建設された経緯や特色・現況、航空写真などを使用して新潟バイパスとともに発展する周辺地域の様子について講義しました。

受講者のみなさんは、非常に興味深い様子で講義を受けられ、日頃日常的に使っている新潟バイパスについてより深く理解をされた様子でした。

新潟国道事務所は、これからもみなさんが道路を安全・安心に使用できるようにしていきます。



講義の様子①



講義の様子②

平成27年度新潟国道事務所建設労働災害防止大会を開催しました



安全管理優良表彰の受賞者紹介

9月28日（月）、平成27年度「新潟国道事務所建設労働災害防止大会」を国土交通省北陸地方整備局の「建設労働災害防止週間」の一環として、約200名の参加により、開催しました。

大会には、来賓として新潟労働基準監督署と新潟東警察署を招き、「労働災害及び交通事故」の防止について講演をしていただきました。

また、平成27年度安全管理優良表彰が9月17日に北陸地方整備局で実施され、当事務所関係では、東亜道路工業(株)が受賞され、当日、表彰のお披露目が行われ、会場より盛大な拍手が送られました。

受講者のみなさんは、非常に興味深い様子で講義を受けられ、日頃日常的に使っている新潟バイパスについてより深く理解をされた様子でした。

あわせて、受賞者から、安全対策事例の発表をしていただき、各工事現場の安全への取り組みの参考となりました。

最後に、参加者全員で、「安全重点目標及び安全宣言」を行い、建設労働災害防止大会を終了しました。



安全宣言 丸運建設(株) 現場代理人

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150924h27kenseturodousaigaibousitaikai.pdf>

新潟まつり大民謡流しで地域の方々と一緒に踊りました。

8月7日（金）、新潟まつり大民謡流しに、にいく有志の職員13名で参加しました。

連日最高気温30度を超える真夏日が続き、当日もとても暑い日でした。私たちは、万代町通会場で「萬代橋を愛する会」のみなさんと一緒に踊りました。

この会場では、6月に一緒に萬代橋をみがいた万代長嶺小学校のみなさんも、大きなかけ声とともに元気に踊っていました。

私たちの中には、新潟市以外の出身者も多く、最初はぎこちなく踊っていましたが、徐々に慣れた感じで踊れました。

今後も新潟のイベントに積極的に参加していきたいと思います。



萬代橋を愛する会のみなさんとにいく有志



踊っている様子

新潟まつり「おまつり広場」内で「道路ふれあいコーナー」を開設しました。



パネルを見ながらクイズの答えを考える親子



小型除雪車の展示・試乗を体験する親子

毎年8月は、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、国土交通省が実施している「道路ふれあい月間」です。

この一環として、新潟市中央区万代1丁目の新潟まつり「おまつり広場」内において「道路ふれあいコーナー」を8月8日（土）、9日（日）の二日間にわたり開設いたしました。

当日は、連日の猛暑の中での開催で参加される方の出足や熱中症等も心配されましたが、夏休み中の土日ということもあり、小中学生や小さいお子様の親子連れなど、昨年以上のたくさんの方が会場に来られ、元気に真夏の昼のイベントを楽しんでおられました。

特に、過去の豪雨を体験できる降雨体験装置、道路パトロールカーの展示・試乗、小型除雪車の展示・試乗は昨年を大きく上回る方が体験され記念撮影などを楽しまれていました。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150805dourofureai.pdf>

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL : niikoku@hrr.mlit.go.jp みちなび新潟 : <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいく 検索

萬代橋誕生祭に萬代橋の歴史パネルの展示をしました！

8月22日(土)に新潟市のシンボルである萬代橋は86才を祝う萬代橋誕生祭が開催されました。誕生祭は萬代橋の歴史的な価値や役割を、楽しみながら再確認してもらおうと開催するもので、13回目となる今回は、今年5月に完成した萬代テラス(萬代橋下流右岸の広場)をメイン会場に盛大なお祝いをしました。

当事務所ブースにおいて、初代萬代橋(明治19年竣工)から現在の三代目萬代橋(昭和4年竣工)に至る歴史を紹介するパネルや萬代橋模型の展示、アーチの仕組みを紹介する実験コーナーを開設しました。

実験コーナーでは、小学生のお子様達が台形ブロックを積んで作ったアーチの上に乗って、その強さに驚いていました。他にも萬代橋の歴史パネルを見ていた方々は、昔を懐かしんだり、萬代橋の歴史を知ろうとよく見ていました。

初代萬代橋ができた頃は「よろずよばし」と呼ばれていました。「よろずよ」には、「いつまでも橋が続き、新潟の町が発展するように。」との願いが込められていたようです。その名の通り、萬代橋はいつまでも新潟の発展とともに、ありつづけていくことでしょう。

また、当事務所の広報室に86周年を祝う寄せ書きパネルを展示しています。よろしければ見に来てください。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150820bandaibashitanjyousai.pdf>



実験コーナーの様子



誕生祭の様子



寄せ書きパネル

「道路愛護団体表彰式」を行いました。

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定め、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るために、全国的に各種の運動を展開しています。

8月26日(水)に新潟国道事務所で、長年にわたり道路愛護の活動や快適な道路環境の確保などに取り組み、その功績が特に顕著であった団体等の表彰を行いました。

今年度は、「大形地区青少年育成協議会」・「上関子供会」・「大通西萌えぎの会」の3団体が(公社)日本道路協会長表彰、「(株)新潟ビルサービス」・「学校町通環境整備同盟会」・「本間電機工業(株)」・「日産プリンス新潟販売(株)三条店」・「北陸建設振興会議 NPO研究委員会」の5団体が北陸地方整備局長表彰、「萬代橋ファン倶楽部」・「新潟日産自動車(株)県庁前店」・「白根大通病院」・「セブン-イレブン白根大通黄金店」の4団体が新潟国道事務所長表彰を受賞されました。

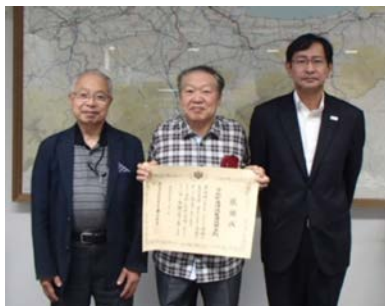
表彰式に引き続き懇談会を行い、受賞の喜びの声や活動にあたってご苦労を忍ばせる話をいただきました。受賞者からは「表彰をいただき嬉しい。これを励みに、今後も一生懸命活動していきたい。」などの意見が出されました。

各団体の活動概要 <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/niikokuopensespace/photo/150826hyousyou.pdf>

関連URL: 記者発表資料 <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/140806dourofureai.pdf>



表彰された団体の方々①



表彰された団体の方々②



懇談会の様子

第1回胎内スマートインターチェンジ準備会を開催しました。

7月29日（水）に第1回胎内スマートインターチェンジ準備会を開催しました。

胎内スマートインターチェンジ（仮称）は胎内市が日本海沿岸東北自動車道の中条IC～荒川胎内IC間で計画を進めてきたところですが、平成27年6月に国として必要性が確認できる箇所として選定されたことから、国が調査を実施する準備段階調査を実施することとしております。

準備・検討を計画的かつ効率的に進めるため、国・新潟県・胎内市・東日本高速道路株式会社で構成される「スマートインターチェンジ準備会」を全国で初めて開催しました。

準備会では、胎内市からスマートインターチェンジ計画地の概要説明や周辺立地企業2社からスマートインターチェンジ整備により期待される効果などの意見発表がありました。

今後は、次のステップとなる地区協議会の開催に向け費用対効果や構造などの検討を進めていきます。

■ 議題

- (1) 胎内スマートIC準備会の設立趣意について
- (2) 胎内スマートIC計画地の周辺概要について
- (3) 最近の話題（ストック効果）について
- (4) 意見発表（株）新潟ジャムコ、（株）クラレ新潟事業所

■ 配付資料

資料① スマートインターチェンジ準備段階調査

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/niikokuopenspace/photo/150729_1.pdf

資料② 計画地の周辺概要

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/niikokuopenspace/photo/150729_2.pdf

資料③ 最近の話題（ストック効果）

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/niikokuopenspace/photo/150729_3.pdf

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150724tainaiSICjyunbikai.pdf>



胎内市長の挨拶



（株）新潟ジャムコの意見発表

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL : niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟 : <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>

